

森町長 岡嶋 康輔



新年あけましておめでとうございます。
2026年の初春にあたり、心よりご挨拶申し上げます。2025年は、森町と旧砂原町の合併20周年という大きな節目の年でした。

今年度は、「20周年」を冠とした記念式典をはじめ、町内各地で多彩なイベントが開催され、多くの町民の皆さまにご参加いただき、地域全体が温かさや活気に満ちあふれた一年となりました。企画や準備に力を尽くしてくださった実行委員や関係者の皆さま、会場を盛り上げてくださった町民の皆さまに、あらためて御礼申し上げます。
これらの取り組みを通じ、合併からの歩みを振り返るとともに、地域の一体感を再確認することができました。皆さまの笑顔、交流する姿こそが、森町を前に進める原動力であると強く実感いたしました。

さらに本年は、北海道森高等学校（森高校）野球部の復活と活躍が、大きな話題を呼びました。長らく廃部となっていた部活動が、2025年春に再スタート。

部員は4名と少数ながら、未来へ踏み出したその一歩は、地域に夢と希望を取り戻す象徴となりました。今後の飛躍を期待し、町民みんなで温かく応援してまいります。

また、国の財政政策が積極財政へと舵を切る中で、地方自治体には新たなチャンスが到来しております。しかしながら、国の支援に依存するだけでは、地域の持続的な発展は実現できません。私たち森町が目指すのは、「地域にしかない価値」を町民が創造し、それを引き出していくエンパワーメントの町づくりです。合併20周年で確かめた「住民の絆」と「地域の誇り」を礎に、社会福祉・教育・防災・再生可能エネルギー・産業振興など、多方面で取り組みを進めてまいります。

加えて、物価高騰が続く中でも安心して暮らせる生活基盤の整備や、デジタル化の進展を活かした行政サービスの向上にも力を注いでまいります。頻発する自然災害への備えや人口減少対策など、自治体が直面する課題は多岐にわたりますが、町民の皆さまとともに知恵を集め、未来に向けた持続可能な地域づくりを着実に進めてまいります。

新しい年が、皆さまにとって健やかで、実り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



静岡県森町長 太田 康雄

北海道森町の皆様、明けましておめでとうございます。

令和8年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、両町にとって特別な年でした。10月には、北の森町の誕生20周年記念式典にお招きいただき、心温まるおもてなしを受けましたこと、深く感謝しています。そして11月には、南の森町の合併70周年記念式典に岡嶋町長と木村議長をお迎えしました。共にこの歴史的な瞬間を祝うことができましたことを大変うれしく思います。

さて、南の森町では「e・Bikeのふるさと森町」をテーマに、ヤマハ発動機株式会社と地域活性化に取り組んでおり、森町体験の里アクティ森に今年度中の完成を目指してマウンテンバイク（MTB）パークの設置を進めています。この施設は、自然豊かな環境でMTBに触れ、体験していただける場となることでしょう。また、明治時代に台湾と静岡で、烏龍茶・紅茶産業の発展に尽力した藤江勝太郎氏の生家の改修も完了する予定です。この歴史的建造物が文化交流・国際交流の新たな拠点となり、多くの皆様に訪れていただき、藤江勝太郎氏の功績を知っていただくことを期待しています。

今年はこれらの新しい事業を通じて、北の森町との交流がさらに活発になり、両町の友好の絆がより一層深まることを願っています。

結びに、貴町のますますのご発展と、新しい年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

森町議会議長

木村 俊広



森町の皆様、新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた新春を迎え、森町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年を振り返りますと、新町森町が誕生

して20年という節目の年でありました。20周年記念を冠したイベントや通年行われている催しについても盛会裏に開催されており、関係者の皆様方の継続した、そして、強い意志をもった頑張りに対しまして、改めて敬意を表するものであります。また、これまでの新町森町として歩み、育んできた20年は確かなものであり、今まで皆様方から頂いた様々なご指導、ご鞭撻を参考にしながら、今後も力強く町発展のため歩みださなければと、改めて誓うものであります。

一方で、国内外のニュースを目にしても、諸情勢は厳しく、物価の高騰は続いており、

人手不足の問題、人件費も高騰しております。中でも長く続く気候変動により、森町の基幹産業である漁業、農業は、極端な不均衡が目立つ状況であり、私達の生活に深刻な影響を与えております。森町としても、町勢の発展を図るうえで、健全な行財政運営の構築が喫緊の課題となっており、隘路^{あいろ}となっておりませんが、これらを打開するためにも、新たな行財政改革等の推進による安全かつ良質な公共サービスが、確実、効率的に実施され、安定した地域社会の実現が、何よりも肝要であると思っております。

この様な中で、森町議会は住民を代表する機関として、行政に対する監視機能を始め、住民代表機能など議会の果たすべき役割の重要さを再認識し、こうした課題等に対し町民の皆様の声に耳を傾けながら、議会の権能を十分に活かし、町民の皆様の暮らしを守るため、より良い方向での解決が出来ますよう積極的に努力してまいりたいと思えます。

結びに、どうか町民の皆様の特段のご指導とご協力を切にお願い申し上げます。また、新しい年が最良の年になりますように、祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



青森県外ヶ浜町長

山崎 結子

森町の皆様には、令和八年の新春を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、森町・外ヶ浜町の合併20年、そして両町の友好町締結10年という大きな節目の年でありました。

自治体の先行きが見通せない中で「町村合併」という道を選択し、その成功に向けて尽力し続けた両町の多くの関係者の皆様に対し、改めて感謝の意を表する次第です。

さて、昨年は当町恒例の「外ヶ浜町港まつり」に岡嶋町長・木村議長をはじめ多くの皆さまにお越しいただき、出店やステージにおいて、「砂原権現太鼓」の披露など、花を添えていただきました。当日は、地元蟹田中学校の生徒も「風太鼓」を演奏し、両町の和太鼓を楽しむことができました。また、生徒にも観客にも大変好評をいただきました。

また、外ヶ浜町から「権四郎ふるさと会」を中心に毎年楽しみに伺っている「森町さわらふるさとまつり」では、あいにくの室内開催となりましたが、当町のベリーグランスクリームも出演させていただきました（実はその中に私もおりました）。

10月に開催された両町の20周年式典では、相互に出席し祝辞を述べあうなど、例年にも増して交流の機会に恵まれた一年となりました。縄文時代から続く歴史を共有する森町と外ヶ浜町が、この節目の年を契機に友好を一層深め、相互に協力し、ともに繁栄していくことを心より願っております。結びにあたり、森町のますますのご発展と、町民の皆さまのご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。